

今年で8回目となる松尾山修験道回峰行が、11月28日（土）・29日（日）の1泊2日の日程で開催されました。参加者は、宮崎県高千穂町、北九州市、別府市他各地から27名、実行委員、スタッフ12名を含めると総勢39名です。

このイベントは、松尾山の修験者たちが行っていた峰入り修行の足跡を巡る回峰行です。峰入りとは、修験者が山々を巡り、山や岩、巨樹など大自然に宿る神靈と交感し、修行によつて自らの靈力を高めようとする山岳修行です。

## 一日目、英彦山山頂

28日、午前8時40分に2台のマイクロバスで英彦山青年の家に向けてゆいきららを出発。当初予定していたコースが積雪のため、コースを変更して英彦山山頂（上宮）へ。山頂付近は26日に降った雪で覆われ、一行は足下に気をつけながら山頂を目指しました。山頂に着くとみごとな雪景色を見ることができました。気温は0度と寒い中にも「靈氣を感じた」と言う方もいました。震えながらわずかな時間で昼食を終わらせ、下山しました。途中奉幣殿で宮司から御神酒をいただき、懇親会を楽しみに青年の家へと向かいました。

オリエンテーションが終わり、お風呂に入り体を温め懇親会にそなえました。懇親会では、鴨鍋とオードブルをつまみに懇親を深めました。参加者から「寒かつたので、鴨鍋がおいしい」とあちこちから声が飛んできました。

## 二日目、英彦山から松尾山へ

# 修験者の足跡を巡る回峰行

松尾山修験道回峰行実行委員会

翌朝参加者は、英彦山青年の家を7時に出発し、松尾山を目指しました。国道500号から野峰を経由し、国道496号からは犬ヶ岳南山腹を縦走し、中津市耶馬溪町津民から豊前市轟、松尾川内、上毛町に入り雁股山、松尾山三社神社を通ってゴールの「ゆいきらら」長かつた」と言いながらも全員完歩しました。

までのルートです。

福本会長を先頭に実行委員が列の間、最後尾を歩き、スタッフがチェックポイントでのチェック、最後尾での救護を行いました。28日の英彦山登山、29日の英彦山青年の家から上毛町までの長い道のりは「とてもきつくな長かつた」と言いながらも全員完歩しました。

## 回峰行を通して自分の目標にもチャレンジ

閉会式で福本会長から「日々車社会の中で生活している我々にとって、今回の36.3kmという荒行の山岳歩行を満行されたあなたは、この先辛いことや苦しいことも、あきらめずに歩き通した不撓不屈の精神を思い出し、勇猛果敢に乗り越えてください」と満行証を一人ひとりに手渡しました。参加者からは「ぜひ来年も開催してください」と嬉しい声もいただきました。来年はまたコースを変えて11月に行う予定ですので、皆さんのお手をお待ちしています。また、無事に回峰行が行えたのはサポートしてくれたスタッフの皆さんのおかげです。ありがとうございました。

### 取材あとがき

今年で8回目となる回峰行ですが、1回目からかさず参加している方もいるそうです。途中は積雪もあり、かなり厳しかったようですが、会長の福本さんは「今回は最後、足に力が入らんごとなつて帰り着かんかと思った」と話していました。「修験者の足跡を巡る回峰行」に皆さんも参加してみませんか。

### 問い合わせ先

松尾山修験道回峰行実行委員会

72-3939(福本)



満行証を渡され思わず笑顔



松尾山では落ち葉のじゅうたんの上を



懇親会では鴨鍋を囲んで



英彦山神社前にて



英彦山青年の家から元気に出発



英彦山山頂に近づくにつれ積雪が